

対象校No.
注4

学校コード F123310106746
注3

設置年度 令和 7年度

計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

注2
愛知東邦大学 経営学部 ビジネス学科

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正後大学設置基準適用)

学校法人東邦学園
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	大学再編準備室
職名・氏名	ジムシチョウ トミダアツシ 事務次長・富田敦史
電話番号	052-782-1241
(夜間)	052-782-1938
e-mail	reorg-jim@aichi-toho.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

経営学部

<ビジネス学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教育研究実施組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	28
7. その他全般的事項	30

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人東邦学園

(2) 大学名

愛知東邦大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒465-8515

愛知県名古屋市名東区平和が丘三丁目11番地

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(サカキ ナオキ) 榊 直樹 (平成20年4月)		
学長	(ウカイ ヒロユキ) 鵜飼 裕之 (令和3年4月)		
学部長	(タムラ ユタカ) 田村 豊 (令和3年4月)		学科開設に伴い就任
学科長等	(フカヤ カズヒロ) 深谷 和広 (令和7年4月)		学科開設に伴い就任

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
経営学部 ビジネス学科 学士（経営学）	経済学関係	4年	120人	2年次 0人 3年次 3人 4年次 0人	486人	-	

- (注) 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期														
A 入学定員	人 () []	120人 () []	-	1.21倍	-	2年次より学科分化（ビジネス学科、コミュニケーション・デザイン学科）することから、入学定員による按分処理とした。										
志願者数	() []	256 []	春季入学以外の入学時期と入学定員内訳													
受験者数	() []	250 []														
合格者数	() []	225 []														
B 入学者数	() []	146 []														
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.21				

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 - ・（ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、（ ）書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。）
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 - ・なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期										
1 年次	- [-] (-)	146 [2] (-)	- [-] (-)	2年次より学科分化（ビジネス学科、コミュニケーション・デザイン学科）することから、入学定員による按分処理とした。										
2 年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)										
3 年次			/		- [-] (-)	- [-] (-)		- [-] (-)						
4 年次					/		- [-] (-)	- [-] (-)		- [-] (-)				
計			- [-] (-)	- [-] (-)			- [-] (-)	- [-] (-)		146 [2] (-)				

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	146 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{146} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

【認可時又は届出時】

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					基幹教員以外(助手を除く)の教員を以て
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	ビジネス法規	3後										1
	Webマーケティング	2後										1
	商品プランニング	3後										1
	データ解析演習	3前										1
	ビジネス統計演習	3後						1				
	現代企業論	3前										1
	消費文化論	3後						1				
	地域振興論	2前					1					
	非営利組織論	2後					1					
	中小企業論	2後										1
	都市開発論	3前										1
	アントレプレナーシップ論	3後					1					
	観光マネジメント	2前					1					
	レジャー産業論	2後					1					
	観光資源探求	2後					1					
	地域観光論	3前					1					
	現代観光論	3後					1					
	International Business English I	2前							1			
	International Business English II	2後							1			
	Marketing and Management in English	3前										1
	国際貿易論	2後							1			
	アジア経済論	3後							1			
	スポーツマネジメント	2前					1					
	スポーツビジネス	2後					1					
	スポーツ情報論	3前					1					
	コミュニケーション技能	2前							1			
	マーケティングプレゼンテーション	2後					1					
	ビジネスプレゼンテーション	3前					1					
関連科目	情報メディア論	1後				2						1
	アメリカの文化と社会	2前				2			1			
	中国の文化と社会	2後				2						1
	アジアの文化と社会	3前				2			1			
	イスラムの文化と社会	3後				2						1
	日本文化論	3後				2						1
	地域ビジネス特講 I	2前				2						1
地域ビジネス特講 II	2後				2						1	
プロジェクト科目	課題解決概論	1前	○			2			1			
	プロジェクト基礎	1後	○			2						1
	課題解決プロジェクト I	3前	○			2			1			1
	課題解決プロジェクト II	3後	○			2			1			1
	課題解決プロジェクト III	4前	○			2			2			
	課題解決プロジェクト IV	4後	○			2			2			
イベントプランニングマネージャー演習	2前				2			1				
2後					2						1	
ゼミナール	専門演習 I	3前	○	2			4	2	1			
	専門演習 II	3後	○	2			4	2	1			
	専門演習 III	4前	○	2			4	2	1			
	専門演習 IV	4後	○	2			4	2	1			
小計(75科目)	-	-	-	20	130	0	8	4	1	0	0	16
合計(166科目)	-	-	-	28	293	0	11	4	3	0	0	65
卒業要件及び履修方法												
必修28単位、総合教養科目の選択科目から24単位、専門科目の選択科目から64単位(基幹科目から選択必修4単位を含む)、総合教養科目及び専門科目の選択科目から8単位を修得し、合計124単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限:24単位(1学期))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					基幹教員以外(助手を除く)の教員を以て
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	ビジネス法規	3後										1
	Webマーケティング	2後										1
	商品プランニング	3後										1
	データ解析演習	3前										1
	ビジネス統計演習	3後								1		
	現代企業論	3前										1
	消費文化論	3後								1		
	地域振興論	2前					1					
	非営利組織論	2後					1					
	中小企業論	2後										1
	都市開発論	3前										1
	アントレプレナーシップ論	3後					1					
	観光マネジメント	2前					1					
	レジャー産業論	2後					1					
	観光資源探求	2後					1					
	地域観光論	3前					1					
	現代観光論	3後					1					
	International Business English I	2前							1			
	International Business English II	2後							1			
	Marketing and Management in English	3前										1
	国際貿易論	2後							1			
	アジア経済論	3後							1			
	スポーツマネジメント	2前					1					
	スポーツビジネス	2後					1					
	スポーツ情報論	3前					1					
	コミュニケーション技能	2前							1			
	マーケティングプレゼンテーション	2後					1					
	ビジネスプレゼンテーション	3前					1					
関連科目	情報メディア論	1後				2						1
	アメリカの文化と社会	2前				2			1			
	中国の文化と社会	2後				2						1
	アジアの文化と社会	3前				2			1			
	イスラムの文化と社会	3後				2						1
	日本文化論	3後				2						1
	地域ビジネス特講 I	2前				2						1
地域ビジネス特講 II	2後				2						1	
プロジェクト科目	課題解決概論	1前	○			2			1			
	プロジェクト基礎	1後	○			2						1
	課題解決プロジェクト I	3前	○			2			1			1
	課題解決プロジェクト II	3後	○			2			1			1
	課題解決プロジェクト III	4前	○			2			2			
	課題解決プロジェクト IV	4後	○			2			2			
イベントプランニングマネージャー演習	2前				2			1				
2後					2						1	
ゼミナール	専門演習 I	3前	○	2			4	2	1			
	専門演習 II	3後	○	2			4	2	1			
	専門演習 III	4前	○	2			4	2	1			
	専門演習 IV	4後	○	2			4	2	1			
小計(75科目)	-	-	-	20	130	0	9	4	1	0	0	15
合計(166科目)	-	-	-	28	293	0	11	4	3	0	0	76
卒業要件及び履修方法												
必修28単位、総合教養科目の選択科目から24単位、専門科目の選択科目から64単位(基幹科目から選択必修4単位を含む)、総合教養科目及び専門科目の選択科目から8単位を修得し、合計124単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限:24単位(1学期))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。

なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員（助手を除く）」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員）」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員（助手を除く）」（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員（助手を除く）」）数は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を**太字の赤字**としてください。（専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。）

- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
- 専門職大学等の場合、「実験・実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。（例：記載順）【認可時又は届出時】→【令和7年度（新）】→【令和6年度（新）】→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度（旧）】→【令和6年度（旧）】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

- 入学者が入学定員を上回ったため、「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」の教員配置を「教授5」「基幹教員以外の教員4」から、「教授6」「基幹教員以外の教員5」に変更した。
- 教育内容の充実を図るため、「東邦プロジェクトA」の教員配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員11」に変更した。
- 基幹教員が担当可能となったため、「経済学」の教員配置を「基幹教員以外の教員1」から「教授1」に変更した。
- 基幹教員が担当可能となったため、「学びの基礎Ⅰ」「学びの基礎Ⅱ」の教員配置を「基幹教員以外の教員1」から「教授1」に変更した。
- 基幹教員が担当可能となったため、「現代経済学」の教員配置を「基幹教員以外の教員1」から「准教授1」に変更した。
- 履修希望者が多かったため、「アカデミックライティングⅠ」の教員配置に「基幹教員以外の教員2」を追加した。

- (注) 2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
- 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
 - 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
 - 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
14 科目	152 科目	0 科目	166 科目	14 科目 [0]	152 科目 [0]	0 科目 [0]	166 科目 [0]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{166} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	借上面積：383.00㎡ (運動場用地) 借用期間：3年 契約期間ごとに更新			
	校舎敷地	51,323.33 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	51,323.33 ㎡				
	そ の 他	1,567.64 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	1,567.64 ㎡				
	合 計	52,890.87 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	52,890.87 ㎡				
(2) 校 舎	専 用	18,544.16 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	18,544.16 ㎡				
	(18,544.16 ㎡)	(0 ㎡)	(0 ㎡)	(0 ㎡)	(18,544.16 ㎡)				
(3) 教室・教員研究室		教 室	39室	教員研究室	57 56 室	大学全体（共同研究室1室含む） 共同研究室より1名が個人研究室に移動したため（7）			
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具 点	標本 点		
		〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				
	経営学部 ビジネス学科	34,273 [5,133] (33,629 [5,056])	80 [15] (42 [0])	39 [5] (40 [2])	0 [0] (0 [0])	0 (0)	0 (0)		
	計	34,273 [5,133] (33,629 [5,056])	80 [15] (42 [0])	39 [5] (40 [2])	0 [0] (0 [0])	0 (0)	0 (0)		
(5) スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂		厚生補導施設				
	1,261.25㎡		㎡		808.06㎡				
(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費等は大学全体 共同研究費等は再積算による (7) 図書購入費および設備購入費 は記載誤りを改め、かつ大学 全体から学部全体に変更した (7)
		教員1人当たり研究費等	300千円	300千円	図書購入費	665 2,230千円	600 201千円	600 780千円	
		共同研究費等	429 435千円	429 435千円	設備購入費	7,975 150,548千円	10,710 150,548千円	10,000 150,548千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	学生納付金以外の維持方法の概要	1,330千円	1,101千円	1,101千円	1,101千円	- 千円	- 千円	大学全体	
寄付金、私立大学等経常費補助金、雑収入等									

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）又は（その1の3）に準じて作成してください。

（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び

「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

・「（4）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（6）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・校舎等建物の計画の変更（校舎の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・高等専門学校については「（3）教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。

・国立大学については「（6）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称		愛知東邦大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	2
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度						
経営学部	4	170	3年次 ₅	690	-	1.20	-	-	平成13	愛知県名古屋市長区平和が丘三丁目11番地					
ビジネス学科	4	120	3年次 ₃	486	学士(経営学)	1.21	-	-	令和7	同上	2年次より学科分化(ビジネス学科、コミュニケーション・デザイン学科)することから、入学定員による按分処理とした。				
コミュニケーション・デザイン学科	4	50	3年次 ₂	204	学士(経営学)	1.18	-	-	令和7	同上	同上				
地域ビジネス学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	-	-	平成13	同上	令和7年度入学生より学生募集停止				
国際ビジネス学科	4	-	3年次 ₂	-	学士(経営学)	-	-	-	平成28	同上	令和7年度入学生より学生募集停止(3年次編入定員は令和9年度入学生より学生募集停止)				
人間健康学部	4	126	3年次 ₃	510	-	0.98	-	-	平成19	同上					
人間健康学科	4	126	3年次 ₃	510	学士(人間健康学)	0.98	-	-	平成19	同上	令和7年度から入学定員変更(120→126)				
教育学部	4	50	-	200	-	0.64	-	-	平成26	同上					
子ども発達学科	4	50	-	200	学士(教育学)	0.64	-	-	平成26	同上	令和7年度から入学定員変更(68→50)				
大学全体	4	346	3年次 ₈	1,400	-	-	-	-	-	-					

大学の名称											収容定員充足率0.7倍以下の学科数	収容定員充足率1.15倍以上の学科数
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考	
該当なし	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度			

大学の名称											収容定員充足率0.7倍以下の学科数	収容定員充足率1.15倍以上の学科数
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考	
該当なし	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度			

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。

・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」

第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<経営学部 ビジネス学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【令和7年度】	
教員区分	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名
基 (主専)	教授	鶴岡 裕之 () <令和7年4月> 博士(工学)	鶴岡 裕之 () <令和7年4月> 博士(工学)
		システム思考入門 海外研修A 海外研修B 海外研修C	システム思考入門 海外研修A 海外研修B 海外研修C
基 (主専)	教授	安藤 真澄 () <令和7年4月> 文学士	安藤 真澄 () <令和7年4月> 文学士
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ メディアコンテンツ入門 入門マーケティング 消費者行動論 ビジネスプランニング マーケティングプレゼンテーション 課題解決プロジェクトⅢ 課題解決プロジェクトⅣ	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ メディアコンテンツ入門 入門マーケティング 消費者行動論 ビジネスプランニング マーケティングプレゼンテーション 課題解決プロジェクトⅢ 課題解決プロジェクトⅣ
基 (主専)	教授	伊藤 恵美子 () <令和7年4月> 博士(学術)	伊藤 恵美子 () <令和7年4月> 博士(学術)
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ アカデミックライティングⅠ アカデミックライティングⅡ	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ アカデミックライティングⅠ アカデミックライティングⅡ
基 (主専)	教授	今瀬 政司 () <令和7年4月> 経営学士	今瀬 政司 () <令和7年4月> 経営学士
		総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 地域コミュニティ論 地域ビジネス概論 地域振興論 非営利組織論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ	総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 地域コミュニティ論 地域ビジネス概論 地域振興論 非営利組織論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ
基 (主専)	教授	杉谷 正次 () <令和7年4月> 文学修士	杉谷 正次 () <令和7年4月> 文学修士
		総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ PC・ネットワーク入門 テータリテラシーⅠ スポーツマネジメント スポーツビジネス スポーツ情報論 イベントプランニング 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ	総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ PC・ネットワーク入門 テータリテラシーⅠ スポーツマネジメント スポーツビジネス スポーツ情報論 イベントプランニング 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ
基 (主専)	教授	竹越 美奈子 () <令和7年4月> 修士(文学)※	竹越 美奈子 () <令和7年4月> 修士(文学)※
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 中国語総合Ⅰ 中国語総合Ⅱ 中国語オーラルコミュニケーションⅠ 中国語オーラルコミュニケーションⅡ	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 中国語総合Ⅰ 中国語総合Ⅱ 中国語オーラルコミュニケーションⅠ 中国語オーラルコミュニケーションⅡ 必修の基礎Ⅰ 必修の基礎Ⅱ
基 (主専)	教授	田村 豊 () <令和7年4月> 博士(経営学)	田村 豊 () <令和7年4月> 博士(経営学)
		経営学Ⅰ※ 経営学Ⅱ※ イノベーション入門 経営組織論 生産マネジメント論 人的資源管理論	経営学 経営学Ⅰ※ 経営学Ⅱ※ イノベーション入門 経営組織論 生産マネジメント論 人的資源管理論
基 (主専)	教授	手嶋 慎介 () <令和7年4月> 修士(経営学)※	手嶋 慎介 () <令和7年4月> 修士(経営学)※
		ライフデザイン キャリア体験 キャリア体験実習A キャリア体験実習B キャリア体験実習C ビジネスプレゼンテーション 課題解決プロジェクトⅢ 課題解決プロジェクトⅣ	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ライフデザイン キャリア体験 キャリア体験実習A キャリア体験実習B キャリア体験実習C ビジネスプレゼンテーション 課題解決プロジェクトⅢ 課題解決プロジェクトⅣ

【認可時又は届出時】

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
基 (主専)	教授	寺島 雅隆 () <令和7年4月> 博士(経営学)	教授	寺島 雅隆 () <令和7年4月> 博士(経営学)
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 東部プロジェクトA 東部プロジェクトB 経営管理論※ アントレプレナーシップ入門 アントレプレナーシップ論 課題解決プロジェクトⅠ 課題解決プロジェクトⅡ		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 東部プロジェクトA 東部プロジェクトB 経営管理論※ アントレプレナーシップ入門 アントレプレナーシップ論 課題解決プロジェクトⅠ 課題解決プロジェクトⅡ
基 (主専)	教授	深谷 和広 () <令和7年4月> 経済学修士※	教授 (新着)	深谷 和広 () <令和7年4月> 経済学修士※
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 東部プロジェクトA 会計学入門 会計学 ビジネス財務論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 東部プロジェクトA 会計学入門 会計学 ビジネス財務論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ
基 (主専)	教授	宮本 佳範 () <令和7年4月> 博士(人間文化)	教授	宮本 佳範 () <令和7年4月> 博士(人間文化)
		総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 観光ビジネス論 観光マネジメント レジャー産業論 観光資源探求 地域観光論 現代観光論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ		総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 観光ビジネス論 観光マネジメント レジャー産業論 観光資源探求 地域観光論 現代観光論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ
基 (主専)	准教授	岩本 光一郎 () <令和7年4月> 博士(経済学)	准教授	岩本 光一郎 () <令和7年4月> 博士(経済学)
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 確率と統計 ビジネス統計学 営業データ論 金融論 日本経済論 ビジネス統計演習		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 確率と統計 現代経済学 ビジネス統計学 営業データ論 金融論 日本経済論 ビジネス統計演習
基 (主専)	准教授	金 良泰 () <令和7年4月> 博士(経営学)	准教授	金 良泰 () <令和7年4月> 博士(経営学)
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 東部プロジェクトB 国際組織論 経営学Ⅰ※ 経営学Ⅱ※ グローバルビジネス論 国際貿易論 アジア経済論		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 東部プロジェクトB 国際組織論 経営学Ⅰ※ 経営学Ⅱ※ グローバルビジネス論 国際貿易論 アジア経済論
基 (主専)	准教授	Tran Thi Tuyet Nhung () <令和7年4月> 博士(経済学)	准教授	Tran Thi Tuyet Nhung () <令和7年4月> 博士(経済学)
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 経営管理論※ 経営戦略論 消費文化論 アジアの文化と社会 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 経営管理論※ 経営戦略論 消費文化論 アジアの文化と社会 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ
基 (主専)	准教授	吉村 美路 () <令和7年4月> 修士(異文化コミュニケーション学)	准教授	吉村 美路 () <令和7年4月> 修士(異文化コミュニケーション学)
		総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 異文化コミュニケーション コミュニケーション技能 課題解決概論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ		総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 異文化コミュニケーション コミュニケーション技能 課題解決概論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ
基 (主専)	講師	Jordan Rolfe Johnson () <令和7年4月> M.S. in Education (米国)	講師	Jordan Rolfe Johnson () <令和7年4月> M.S. in Education (米国)
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ International Business English Ⅰ International Business English Ⅱ アメリカの文化と社会 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ International Business English Ⅰ International Business English Ⅱ アメリカの文化と社会 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ

【認可時又は届出時】

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
基(専)	講師	Michael Alan Larsen () <令和7年4月> Masters of TESOL (米園) Masters of Divinity (米園)	基(専)	Michael Alan Larsen () <令和7年4月> Masters of TESOL (米園) Masters of Divinity (米園)
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語オーラルコミュニケーションⅠ 英語オーラルコミュニケーションⅡ		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語オーラルコミュニケーションⅠ 英語オーラルコミュニケーションⅡ
基(専)	講師	Pilar Gutierrez () <令和7年4月> M.A. in World and Comparative Literature (米園)	基(専)	Pilar Gutierrez () <令和7年4月> M.A. in World and Comparative Literature (米園)
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語オーラルコミュニケーションⅠ 英語オーラルコミュニケーションⅡ スペイン語入門		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語オーラルコミュニケーションⅠ 英語オーラルコミュニケーションⅡ スペイン語入門
その他	教授	佐々木 裕美 () <令和7年4月> 文学修士※	その他	佐々木 裕美 () <令和7年4月> 文学修士※
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 文学 日本の文化 英語Ⅰ 英語Ⅱ		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 日本の文化 英語Ⅰ 英語Ⅱ
その他	教授	高木 靖彦 () <令和7年4月> 理学博士	その他	高木 靖彦 () <令和7年4月> 理学博士
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 自然科学基礎 環境リテラシー PC・ネットワーク入門 データリテラシーⅠ		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 自然科学基礎 環境リテラシー PC・ネットワーク入門 データリテラシーⅠ
その他	教授	中山 孝男 () <令和7年4月> 経済学修士※		
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 経済学 学びの基礎Ⅰ 学びの基礎Ⅱ 現代経済学		
その他	教授	原 京二 () <令和7年4月> 経済学士	その他	原 京二 () <令和7年4月> 経済学士
		ブランド構築論 現代広告論 プロジェクト基礎		ブランド構築論 現代広告論 プロジェクト基礎
その他	教授	鈴木 恵一 () <令和7年9月> 社会科学士	その他	鈴木 恵一 () <令和7年9月> 社会科学士
		専攻プロジェクトC 専攻プロジェクトD リーダーシップ入門 情報メディア論		専攻プロジェクトC 専攻プロジェクトD リーダーシップ入門 情報メディア論
その他	教授	宮城 エステバン (Miyashiro Nakaima Esteban) () <令和8年4月> 国際経営修士(専門職)	その他	宮城 エステバン (Miyashiro Nakaima Esteban) () <令和8年4月> 国際経営修士(専門職)
		専攻プロジェクトB インターネット社会論 AIリテラシー※ データ解析演習 現代企業論 課題解決プロジェクトⅠ 課題解決プロジェクトⅡ		専攻プロジェクトB インターネット社会論 AIリテラシー※ データ解析演習 現代企業論 課題解決プロジェクトⅠ 課題解決プロジェクトⅡ
			その他	石渡 輝之 () <令和7年9月> 経営学士 専攻プロジェクトA
			その他	伊藤 龍仁 () <令和7年9月> 修士(福祉マネジメント) 専攻プロジェクトA※
			その他	小池 嘉彦 () <令和7年4月> 博士(教育学) 教壇の世界
			その他	新實 広昭 () <令和7年9月> 修士(学術) 専攻プロジェクトA※
			その他	堀 眞実 () <令和7年9月> 博士(医学)、博士(学術) 専攻プロジェクトA※
			その他	堀 達治 () <令和7年9月> 修士(教育)※ 専攻プロジェクトA※
			その他	松本 昌宏 () <令和7年4月> 博士(学術) わたしたちの身体

【認可時又は届出時】

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		
その他	准教授	谷口 正博 () <令和8年9月> 修士(芸術工学)	その他	谷口 正博 () <令和7年4月> 修士(芸術工学)
		地域ビジネス特講Ⅱ		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 地域ビジネス特講Ⅱ
その他	准教授	日菜 一真 () <令和7年4月> 修士(メディア表現)	その他	日菜 一真 () <令和7年4月> 修士(メディア表現)
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 地域ビジネス特講Ⅰ		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 地域ビジネス特講Ⅰ
			その他	伊藤 敦典 () <令和7年9月> 修士(教育学)
				演習プロジェクトA※
その他	講師	柿原 聖治 () <令和7年4月> 教育学修士		
		教理の世界		
その他	講師	本野村 嘉剛 () <令和8年9月> 修士(体育学)	その他	本野村 嘉剛 () <令和8年9月> 修士(体育学)
		スポーツ科学		スポーツ科学
その他	講師	尚 爾華 () <令和7年4月> 博士(医学)	その他	尚 爾華 () <令和7年4月> 博士(医学)
		食と健康※ わたしたちの身体		食と健康※
その他	講師	丹下 悠史 () <令和8年4月> 修士(教育学)	その他	丹下 悠史 () <令和8年4月> 修士(教育学)
		倫理学		倫理学
その他	講師	西尾 敦史 () <令和8年9月> 文学士	その他	西尾 敦史 () <令和7年9月> 文学士
		文化人類学		演習プロジェクトA 文化人類学
その他	講師	西崎 有多子 () <令和7年4月> Master of Arts(米國)	その他	西崎 有多子 () <令和7年4月> Master of Arts(米國)
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ
その他	講師	正岡 元 () <令和7年4月> 博士(学術)	その他	正岡 元 () <令和7年4月> 博士(学術)
		PC・ネットワーク入門 データリテラシーⅠ AIリテラシー※		PC・ネットワーク入門 データリテラシーⅠ AIリテラシー※
その他	講師	水野 伸子 () <令和8年4月> 博士(音楽学)	その他	水野 伸子 () <令和7年9月> 博士(音楽学)
		音楽と社会		演習プロジェクトA※ 音楽と社会
その他	講師	三好 弥生 () <令和8年9月> 博士(社会福祉学)	その他	三好 弥生 () <令和8年9月> 博士(社会福祉学)
		高齢社会論		高齢社会論
その他	講師	山村 伸 () <令和8年4月> 修士(スポーツ健康科学)	その他	山村 伸 () <令和8年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		スポーツ実技(球技)		スポーツ実技(球技)
その他	講師	青柳(柴山) 黄紀子 () <令和7年4月> 修士(学術)	その他	青柳(柴山) 黄紀子 () <令和7年4月> 修士(学術)
		心理学		心理学
その他	講師	浅野 健 () <令和8年4月> 修士(工学)	その他	浅野 健 () <令和8年4月> 修士(工学)
		都市空間と地域まちづくり 都市開発論		都市空間と地域まちづくり 都市開発論
その他	講師	飯尾 圭司 () <令和7年4月> 修士(歴史学)	その他	飯尾 圭司 () <令和7年4月> 修士(歴史学)
		世界史		世界史
その他	講師	石橋 康正 () <令和7年9月> 修士(社会学)	その他	石橋 康正 () <令和7年9月> 修士(社会学)
		社会学		社会学
その他	講師	石原 康平 () <令和7年4月> 修士(体育学)		
		健康・スポーツ実習		

【認可時又は届出時】

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名	担当授業科目名
その他	講師	石山(山田) 絹子 () <令和7年9月> 修士(生活学)	石山(山田) 絹子 () <令和7年9月> 修士(生活学)
		世界の食文化	世界の食文化
その他	講師	井上 研 () <令和8年4月> 博士(情報科学)	井上 研 () <令和8年4月> 博士(情報科学)
		哲学	哲学
その他	講師	今西 昭一 () <令和8年9月> 経営学修士	今西 昭一 () <令和8年9月> 経営学修士
		ビジネス法提 中小企業論	ビジネス法提 中小企業論
その他	講師	岩本 義浩 () <令和7年4月> 修士(社会福祉学)	岩本 義浩 () <令和7年4月> 修士(社会福祉学)
		福祉と社会	福祉と社会
その他	講師	宇田川 千帆 () <令和8年4月> 修士(宗教学)	宇田川 千帆 () <令和8年4月> 修士(宗教学)
		宗教と社会	宗教と社会
その他	講師	大平 里香 () <令和9年9月> 短期大学士	大平 里香 () <令和9年9月> 短期大学士
		商品プランニング	商品プランニング
その他	講師	小川 現樹 () <令和8年9月> 学士(文学)	小川 現樹 () <令和8年9月> 学士(文学)
		キャリアプランニングⅠ	キャリアプランニングⅠ
その他	講師	押山 美知子 () <令和9年9月> 博士(文学)	押山 美知子 () <令和9年9月> 博士(文学)
		日本文化論	日本文化論
その他	講師	海邊 健二 () <令和8年9月> 博士(環境学)	海邊 健二 () <令和8年9月> 博士(環境学)
		技術革新と未来社会	技術革新と未来社会
その他	講師	香川 貴江 () <令和7年4月> 学士(生活科学)	香川 貴江 () <令和7年4月> 学士(生活科学)
		食と健康※	食と健康※
その他	講師	梶田 政人 () <令和7年9月> 法学士	梶田 政人 () <令和7年9月> 法学士
		キャリア基礎	キャリア基礎
その他	講師	梶間 貴代 () <令和8年9月> 学士(メディア造形学)	梶間 貴代 () <令和8年9月> 学士(メディア造形学)
		プレゼンテーション技術 Webマーケティング	プレゼンテーション技術 Webマーケティング
その他	講師	加藤 智樹 () <令和8年9月> 学士(歯学)	加藤 智樹 () <令和8年9月> 学士(歯学)
		生命科学	生命科学
その他	講師	川西 司 () <令和7年4月> 修士(体育学)	川西 司 () <令和7年4月> 修士(体育学)
		健康・スポーツ実習	健康・スポーツ実習
その他	講師	神田 浩史 () <令和7年4月> 農学士	神田 浩史 () <令和7年4月> 農学士
		入門ボランティア	入門ボランティア
その他	講師	金 三淑 () <令和8年4月> 博士(文学)	金 三淑 () <令和8年4月> 博士(文学)
		韓国語入門	韓国語入門
その他	講師	金城(今野) 美幸 () <令和9年9月> 博士(学術)	金城(今野) 美幸 () <令和9年9月> 博士(学術)
		イスラムの文化と社会	イスラムの文化と社会
その他	講師	久野 正人 () <令和8年4月> Master of Business Administration(米園)	久野 正人 () <令和8年4月> Master of Business Administration(米園)
		クリティカル・ロジカルシンキング	クリティカル・ロジカルシンキング
その他	講師	倉橋 奨 () <令和9年9月> 博士(工学)	倉橋 奨 () <令和9年9月> 博士(工学)
		地震と安全	地震と安全
その他	講師	栗栖 美由紀 () <令和8年4月> 高等学校卒	栗栖 美由紀 () <令和8年4月> 高等学校卒
		スポーツ実技(フィットネス&エア ロビ)	スポーツ実技(フィットネス&エア ロビ)

【認可時又は届出時】

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	
		<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名			
その他	講師	高阪 香津美 () <令和8年4月> 博士(言語文化学)	その他	講師	高阪 香津美 () <令和8年4月> 博士(言語文化学)
		ポルトガル語入門			ポルトガル語入門
その他	講師	小久保 嘉紀 () <令和7年9月> 博士(歴史学)	その他	講師	小久保 嘉紀 () <令和7年9月> 博士(歴史学)
		日本史			日本史
その他	講師	小林 貞弘 () <令和7年4月> 博士(学術)	その他	講師	小林 貞弘 () <令和7年4月> 博士(学術)
		名古屋の歴史と文化 サブカルチャー論			名古屋の歴史と文化 サブカルチャー論
その他	講師	小原(西尾) ひろみ () <令和8年4月> 高等学校卒	その他	講師	小原(西尾) ひろみ () <令和8年4月> 高等学校卒
		演劇論			演劇論
その他	講師	榊 直樹 () <令和7年4月> 法学士	その他	講師	榊 直樹 () <令和7年4月> 法学士
		学園理念から読み解く現代社会			学園理念から読み解く現代社会
その他	講師	Cheyenne Nicole Haney () <令和9年4月> M.A. in History (米園)	その他	講師	Cheyenne Nicole Haney () <令和9年4月> M.A. in History (米園)
		Marketing and Management in English			Marketing and Management in English
その他	講師	徐 玉 () <令和9年4月> 博士(言語文化学)	その他	講師	徐 玉 () <令和9年4月> 博士(言語文化学)
		ジェンダー論			ジェンダー論
その他	講師	鈴木 真理 () <令和7年4月> 博士(法務)	その他	講師	鈴木 真理 () <令和7年4月> 博士(法務)
		憲法			憲法
その他	講師	裏 偉 () <令和7年4月> 修士(体育学)			
		健康・スポーツ実習			
その他	講師	竹野 貴子 () <令和8年9月> 博士(地域研究)	その他	講師	竹野 貴子 () <令和8年9月> 博士(地域研究)
		政治学			政治学
その他	講師	中鉢 直宏 () <令和8年9月> 修士(政策・メディア)	その他	講師	中鉢 直宏 () <令和8年9月> 修士(政策・メディア)
		データリテラシーⅡ			データリテラシーⅡ
その他	講師	拓継 智甫 () <令和9年4月> 法務博士(専門職)	その他	講師	拓継 智甫 () <令和9年4月> 法務博士(専門職)
		企業とコンプライアンス			企業とコンプライアンス
その他	講師	テレーズ メイヤー (Thérèse Meyer) () <令和8年4月> Diplome de l'Institut d'études politiques de Strasbourg section relations internationales (仏園)	その他	講師	テレーズ メイヤー (Thérèse Meyer) () <令和8年4月> Diplome de l'Institut d'études politiques de Strasbourg section relations internationales (仏園)
		フランス語入門			フランス語入門
その他	講師	内藤 法永 () <令和8年4月> 修士(体育学)	その他	講師	内藤 法永 () <令和8年4月> 修士(体育学)
		スポーツ実技(マシントレーニング)			スポーツ実技(マシントレーニング)
その他	講師	長谷川(伊藤) 澁子 () <令和8年4月> 短期大学士	その他	講師	長谷川(伊藤) 澁子 () <令和8年4月> 短期大学士
		世界の芸術			世界の芸術
その他	講師	波多野 由美 () <令和8年9月> 高等学校卒	その他	講師	波多野 由美 () <令和8年9月> 高等学校卒
		スポーツ実技(ストレッチング&ヨガ)			スポーツ実技(ストレッチング&ヨガ)
その他	講師	松野 正太郎 () <令和8年9月> 博士(環境学)	その他	講師	松野 正太郎 () <令和8年9月> 博士(環境学)
		グローバルリスク			グローバルリスク
その他	講師	松下 晴洋 () <令和8年9月> 商学士	その他	講師	松下 晴洋 () <令和8年9月> 商学士
		マネージャー演習			マネージャー演習
その他	講師	山本 恭子 () <令和8年9月> 博士(文学)	その他	講師	山本 恭子 () <令和8年9月> 博士(文学)
		中国の文化と社会			中国の文化と社会

【認可時又は届出時】

【令和7年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
その他	講師	山本 真久 () <令和9年4月> 学士(経済学)	キャリアプランニングⅡ	その他	講師	山本 真久 () <令和9年4月> 学士(経済学)	キャリアプランニングⅡ
その他	講師	山本 晴奈 () <令和8年4月> 修士(環境学)	地理学	その他	講師	山本 晴奈 () <令和8年4月> 修士(環境学)	地理学
				その他	講師	薄木 美晴 () <令和7年4月> 修士(日本語学・日本語教育学)	アカデミックライティングⅠ
				その他	講師	薄木 裕子 () <令和7年4月> 修士(教育学)	アカデミックライティングⅠ
				その他	講師	中川 貴光 () <令和7年4月> 修士(体育学)	健康・スポーツ実習
				その他	講師	長谷 聖希 () <令和7年9月> 修士(スポーツ科学)	健康・スポーツ実習
				その他	講師	松本 亜香里 () <令和7年9月> 修士(看護学)	東邦プロジェクトA※
				その他	講師	山田(荒川) 幸代 () <令和7年4月> 修士(文学) ※	文学
				その他	講師	渡邊 明奈 () <令和7年9月> 修士(人間文化) ※	東邦プロジェクトA※
その他	助教	向島 美奈子 () <令和7年9月> 学士(芸術学)	東邦プロジェクトA	その他	助教	向島 美奈子 () <令和7年4月> 学士(芸術学)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 東邦プロジェクトA

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)(その2の2)(その2の3)に準じて作成してください。
 - ・ なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員を含む。))を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任教員」)の順に記入してください。
 - ・ 改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引いてください。(大学院、高等専門学校は除く)
 - ・ 教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下へ記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧がキリムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のキリム(新カリキリム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のキリム(旧カリキリム)の授業科目名を記入してください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和7年度】

【学部長・学科長の任命】

- ・経営学部ビジネス学科開設に伴い経営学部長に田村豊教授を、ビジネス学科長に深谷和広教授を任命した。

【担当科目の追加・変更】

- ・中山孝男教授の退職に伴い、田村豊教授に「経済学」、竹越美奈子教授に「学びの基礎Ⅰ」「学びの基礎Ⅱ」、岩本光一郎准教授に「現代経済学」をそれぞれ追加した。
- ・入学者が入学定員を上回ったため、手嶋慎介教授、谷口正博准教授、向島美奈子助教に、それぞれ「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」を追加した。
- ・人間健康学分野、教育学分野の内容を網羅したプロジェクト科目の内容を充実させるため、石渡靖之教授、伊藤龍仁教授、新貫広記教授、西尾敦史教授、堀篤実教授、堀建治教授、水野伸子教授、伊藤敦馬准教授、松本亜香里講師、渡邊明宏講師に「東邦プロジェクトA」をそれぞれ追加した。
- ・履修希望者が増えたため、澤木美晴講師、鈴木裕子講師を「アカデミックライティングⅠ」の担当者として追加した。
- ・柿原聖治講師の退職に伴い、「教理の世界」の担当者を小池嘉志教授に変更した。
- ・所属学部担当科目過多により、「わたしたちの身体」の担当者を尚爾華教授から松永昌宏教授に変更した。
- ・本務等多忙により、石原康平講師および叢偉講師が就任を辞退したため、「健康・スポーツ実習」の担当者を中川貴光講師、長谷晃希講師に変更した。
- ・経営学部国際ビジネス学科担当科目過多により、「文学」の担当者を佐々木裕美教授から山田（荒川）幸代講師に変更した。

【職名の変更】

- ・届出時の記載誤りにより、尚爾華講師、西尾敦史講師、西崎有多子講師、水野伸子講師および三好弥生講師の職名を「教授」に、丹下悠史講師および山村伸講師の職名を「准教授」に、木野村嘉則講師および正岡元講師の職名を「助教」にそれぞれ変更した。

【就任年月の変更】

- ・西尾敦史教授に「東邦プロジェクトA」を担当科目として追加したことに伴い、就任年月を令和8年9月から令和7年9月に変更した。
- ・水野伸子教授に「東邦プロジェクトA」を担当科目として追加したことに伴い、就任年月を令和8年4月から令和7年9月に変更した。
- ・谷口正博准教授に「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」を担当科目として追加したことに伴い、就任年月を令和8年9月から令和7年4月に変更した。

(注) 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。

原則としてA C教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した

「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、

「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C教員審査の受審を求めていた事由が発生する場合は、A C教員審査を受審する必要があります

- ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数(α)	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数(α)の4分の3以上)
10 名	5 名	8 名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在(報告時)の状況						
教授	准教授	講師	助教	計(A)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「高専」の計(A'))	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「高専」の計(B'))	助手(B')
11	4	3	0	18	18	0	11	4	3	0	18	18	0
(11)	(4)	(3)	(0)	(18)	(18)	(0)							
現在(報告時)の完成年度時の状況							現在(報告時)の完成年度時の計画						
教授	准教授	講師	助教	計(C)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「高専」の計(C'))	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「高専」の計(D'))	助手(D')
11	4	3	0	18	18	0	11	4	3	0	18	18	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「高専」の計)」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者(「基(主専)」及び「高専」の計)」として記入してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画(改正前大学設置基準等)」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
また、「計(A)」の「うち専ら当該学部等の教員研究に従事する者(「基(主専)」及び「高専」の計(A'))」欄には「-」を記入してください。
・現在(報告時)の状況には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
・**現在(報告時)の完成年度時の状況には、認可で設置された学部等の場合は、現在(報告時)の状況に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、現在(報告時)の状況に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、()内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
・現在(報告時)の完成年度時の計画には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、()内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	2 名	2 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{18}{18} = 100\%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教員研究に従事する者】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{18}{18} = 100\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{2}{18} = 11.11\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = -\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」 |
| ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 |
| ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |

(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。（学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
- 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」 |
| ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 |
| ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0
		計	0	科目	計	0	科目	計	0

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{18} = 0 \%$$

(注) ・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和 6 年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。
 ・令和 7 年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
- | |
|---|
| ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」 |
| ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 |
| ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注)・上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）（7）」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<経営学部 ビジネス学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学的なFDは「FD・SD委員会」で取り扱っている。

令和7年5月1日現在の同委員会の構成員は以下の通りである。

教員：三好 弥生（委員長、人間健康学部教授、教務委員長兼務）、吉村 美路（経営学部准教授）

松本 亜香里（教育学部講師）

職員：久保 雄大（教務課長補佐）、池田 暁生（総務課施設担当課長、職員研修委員長兼務）

「FD・SD委員会規程」

（目的）

第1条 FD・SD委員会（以下、「本委員会」という。）は大学全体の内部質保証のプロセスの一環として適切なFD・SD活動を行うことを目的とする。

（業務内容）

第2条 本委員会は、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) FD・SDの事例収集・分析・活用に関する事項
- (2) FD・SDプログラムの検討および提案に関する事項
- (3) 研修プログラムの策定に関する事項
- (4) 授業評価アンケートの分析に関する事項
- (5) その他、本委員会が必要と定める事項

（事務の所管）

第3条 この規程の運用に関する事務は、総務課および教務課が所管する。

（補則）

第4条 この規程に定めるもののほか、本委員会運営に関し必要な事項は、本委員会の定めるところによる。

附則

- 1 この規程は、2022年4月1日から適用する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

原則として月1回開催する計画としており、令和7年度は4月16日に第1回委員会を開催した。

5月以降も定例での開催が計画されており、委員はすべての回に出席する予定となっている。

c 委員会の審議事項等

令和7年4月16日の委員会審議事項は以下の通りである。

- ・2025年度FD・SD委員会事業計画
- ・2025年度FD・SD年間計画

② 実施状況

a 実施内容

令和7年5月以降順次実施予定。

b 実施方法

令和7年5月以降順次実施予定。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

令和7年5月以降順次実施予定。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

令和7年5月以降順次実施予定。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

令和7年7月（前期）および令和8年1月（後期）に実施予定である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

実施後、教員・学生にはポータルサイトを通じて公開予定である。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

経営学部ビジネス学科は、令和7年度に設置したところであり、その設置の趣旨・目的通りに履行すべく、全学一体となって教育研究水準の向上に努めている。

経営学部では、ビジネス学科とコミュニケーション・デザイン学科を一括入試で選抜し、2年次より各学科に分属を実施している。開設年度である令和7年度は、学部合計入学定員170名に対し207名の入学者を受け入れた。当初計画より入学者を多く受け入れることとなったことから、一部科目はクラスを増設したほか、出欠状況をきめ細やかに把握し、欠席過多の学生には個別に連絡することや、ポートフォリオによる状況の可視化など、教育の質低下、学生への不利益が生じることがないように順次対策を講じている。

これらの学生に対し、地域経済のために中長期的な視点を持ち、必要となる経営課題を提示し、かつ地域経済社会の課題を解決する構想力と実践力を備えた人材育成に努める。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和7年8月 公表

b 公表方法

- ・ 大学ホームページ上に公開予定（令和7年8月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・ 令和11年に公益財団法人日本高等教育評価機構の認証評価を受審する予定である

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。